

令和5年度第2回習志野市学校給食運営委員会 会議録

1. 開催日時：令和6年2月9日（金） 午後3時30分から午後4時30分

2. 開催場所：市庁舎3階大会議室

3. 出席者【会長】 合田聖委員

【委員】 野村健一委員、小坂智子委員、瀧安奈委員、吉兼望委員、
猪瀬まゆみ委員、渡部美鈴委員、植田敦子委員、永田美保委員、
鈴木智道委員、品川真智委員、蛭澤佐知子委員、藤河直美委員、
中村実千代委員、杉戸一寿委員

【事務局】 島本学校教育部長、杉山学校教育部次長、奥秋学校教育課長、
石垣学校給食センター所長、松岡学校教育部主幹、
水嶋学校給食センター主幹、秋山学校給食センター係長、
谷地副主査

【傍聴人】 0名

4. 会議の概要

開会

【会議内容】

第1 会議の公開

原則公開としたうえで、内容により公開・非公開の判断が必要となった際は、その都度、議決することに決定した。

第2 会議録の作成等

要点筆記とし、会議名・開催日時・開催場所・出席者氏名・会議内容・発言委員名及び所管課名を記載のうえ、市ホームページ及び市役所グランドフロアの情報公開コーナーにおいて公表することを決定した。

第3 会議録署名委員の指名

会議録署名委員に植田敦子委員を指名し、決定した。

報告事項

- (1) 令和4年度学校給食関係費決算について
- (2) 令和5年度学校給食の取り組みについて
 - ① 令和5年度学校給食の食育の取り組みについて
 - ② 令和5年度学校給食の地産地消の取り組みについて
- (3) 習志野市学校給食用物資選定規格書（案）について
- (4) その他

閉会

5. 会議資料

- ・ 次第
- ・ 資料1 令和4年度学校給食関係費決算
- ・ 資料2 令和5年度学校給食の取り組みについて
- ・ 資料3 令和5年度学校給食の地産地消の取り組みについて
- ・ 資料4 習志野市学校給食用物資選定規格書（案）
- ・ 別紙 食育だより
- ・ 別紙 千産千消デー実施報告書

6. 報告事項

(1) 令和4年度学校給食関係費決算について

事務局より資料1を基に、令和4年度学校給食関係費決算について説明。

【小坂委員】 物価高騰に関する質問が第1回の会議でもあったかと思うが、去年は、頻繁に報道でも物価の値上げが取り上げられており、給食への影響が心配されたが、今年度も幼稚園の給食は、現状の1食単価で、これまでどおりおいしい給食が食べられている。実際、現場の状況はどうか。

【合田会長】 実際現場に携わっている植田委員、永田委員、今の質問に対していかがでしょうか。

【植田委員】 例年、一時的に高騰することはあったが、今年度については、ずっと高騰している状態が一年間続いている。野菜の値段は特に影響を受けるが、油・調味料の値段も高くなってきている。現場の工夫としては、油を何回か使い、再利用している。例えば、大豆を揚げた後にさつまいもを揚げて、レバー、いわしを揚げるといような形で、段々、油が汚れそうなものが後に来るように使っている。回数を増やし、順番や組み合わせを変える工夫を行いつつ、1年間給食を提供してい

るが、牛乳の値上げが、今年度55円から61円に上がったので、影響を及ぼしている。今年度は子供たちに提供出来ているが、この金額のままで、高騰した状態が続き、先が見えない状態が続くようであれば、私達も不安になるし、栄養価を保てるかというような不安にもつながってしまう。難しい状況だと感じる1年だった。

【永田委員】 中学校においても同様だが、中学校だとボリュームや必要な栄養量も多くなってくるので、そのようなことを満たしながら、寂しくならないように、満足感が出るように考えている。野菜については八百屋さんとかまめに連絡を取り、価格の情報を頂きながら、高くなっている野菜の情報がある場合は、そちらの野菜を減らし、安めの野菜を増やしたりして野菜を選ぶようにしている。魚についてもかなり値段が上がっているのので、切り身をやや小さくしたり、安価な魚がないか聞きながら、美味しい調理法になるよう工夫し提供している。今年度は、特に9月10月の野菜の値段が高騰し、本来であれば旬の果物を出したいなとか、暑い時期だったのでデザートを付けてあげたいと思っても、予算が足りずに出すことが出来ず、残念に思うこともあった。必要な栄養を満たすと共に、子ども達に楽しく感じてもらえるような給食を提供していきたいと思っている。可能な限り食材や献立等を工夫しやりくりをしている。先ほども話をしたが、現在も価格を計算しながら何とかやりくりをしている状況なので、これ以上値上げが続く場合は、献立の方にも影響してくるのではと懸念している。

【合田会長】 私ども谷津南小学校は、給食センター校だが、彩りも鮮やかで、メニューも毎回同じメニューを繰り返すというより、色んなメニュー、色んな国の料理や郷土料理が出たり、聞いたことがなかったような非常に勉強になるようなメニューが出ている。味も美味しく、見た目も非常に良く、食感もとても良い給食が提供されている状況である。現場の栄養士が積み上げてきたこれまでの知識・経験等を活かし、工夫を凝らしながら取り組んでいただいていると感じている。今後も、児童生徒が楽しみにしている給食の提供を、お願いできればと思っている。

【松岡主幹】 先ほど植田委員からお話のあった牛乳代が上がった件について、令和元年度、2年度は54円、令和3年度4年度は55円、今年度61円で6円上がった。一食単価が決まっている中で牛乳代の値上げがあり、影響がきているということの話だと思う。牛乳代の値上げだけ見ても、今年度は大幅に上がった。

（２）令和５年度学校給食の取り組みについて

事務局より資料２・３、別紙を基に、令和５年度学校給食の取り組みについてについて説明。
学校給食センター作成の視聴覚動画を視聴。

【合田会長】 給食センターで作成した視聴覚資料は、主に小学生が視聴していると思うが、学校で見せているという所で、折角なので PTA の方々にご感想をいただけないか。

【渡部委員】 先ほどのおせち料理について、私達もなかなか１から５の重のおせちを家庭で用意することはしない。５つ目の重は、空であるべきなんだな、神様、福が入るべきなんだなということを初めて知ったので、親も教えられないようなことを、給食センターを通してこのような動画を作っていただいて凄くありがたいことだと感じた。

【猪瀬委員】 私の知らないようなことがあったので、親よりも子どもの方が知っているということで、ありがたい動画だなと。これからもよろしくお願いします。

【吉兼委員】 うちでもおせち料理で５の段まできちんと全部作ることはなかったので、あのよう形で子ども達に伝統だったり食事について興味を深めることは良いと思う。ありがとうございます。

【瀧委員】 知らなかったことを教えていただいて、私達も勉強になったので、お家で作ってみないかとお手伝いに繋げられたらと思った。

【合田会長】 鈴木委員は食育の授業をされたと聞いていますが、授業での児童の様子や、その後の給食の様子はいかがだったでしょうか。

【鈴木委員】 子ども達は、自分が食べている物と、栄養士さんのお話してくれたものを比べて栄養について考えたり、真剣に取り組んでいた。その後の給食の様子でも、これまで野菜や魚などが苦手な子も、残菜が少しずつ減ってきたので、とても感謝している。

【合田会長】 残菜が減ったということで、大変効果的だったというお話を頂き、ありがとうございました。本日、食育だよりが配付されていると思いますが、今年度、大久保東小学校は、県内で「地域における食育指導推進事業」の食育拠点校として指定され、食育公開授業を行ったと聞いていますが、植田委員、この取り組みについ

ていかがだったでしょうか。

【植田委員】 食育指導推進事業の拠点校として指定されたので、本校では給食委員会の活動を通して、子ども達が食に興味、関心を持ってもらいたいと考えた。それだけではなく、給食が楽しいから学校に行きたいと思えるような子ども達を増やしたいと思い、そういった食育を目指して取り組んだ内容。活動のひとつに挙げているのが、食育だよりに書いてある「給食総選挙」で、授業もこの内容について行った。「給食総選挙」というのは、給食委員会の子ども達と食べ物の政党、党を立ち上げた。食育だよりに記載の、左側の表に書いてある通りだが、パン党、お肉党、カレー党、デザー党という4つの党を立ち上げ、その候補者を子ども達と決め、パン党はきなこ揚げパン、ココア揚げパン、ガーリックトーストというように、それぞれの党に3つの候補者、候補料理を立てて、子ども達がそれぞれの党に一つ丸を付けて選ぶスタイルで総選挙を行った。写真にも載せているが、本物の選挙で使われている選挙の投票箱を習志野市の選挙管理委員会よりお借りし、子ども達が大人のような選挙の活動も出来るような所も活動のねらいとして行った。とても真剣に取り組み、投票場所も3ヶ所設置し、1年生から6年生までの子ども達が給食委員会主体の取り組みに参加出来る一大イベントを行った。スケジュールとしては、1月10日から1月15日に投票を行い、1月16日に開票、1月19日、22日、23日に当選した候補者の給食が出るように、私の方で献立も工夫して行った。選挙は鮮度が大切だと思ったので、子ども達が忘れないうちにすぐ対応することで、「給食総選挙」から給食を食べる所までとても関心高く体験できた出来事だと思っている。食育拠点校と指定されて、今年度限りではなくまた来年度も引き続き、子ども達が食に興味、関心を持って、学校が楽しいと思えるような給食を目指して取り組んでいきたいと思う。

【合田会長】 児童が主体になって行っている授業ということで、大変興味深いものでした。ありがとうございました。また、資料として千産千消デー実施報告書は配付されていますが、千産千消デーの取り組みについて、永田委員いかがですか。

【永田委員】 千産千消デーでは、千葉県食材を味わってもらうと共に、千葉県の産業について知ってもらう良い機会になっていると思っている。千葉県は農産物も水産物も全国トップクラスの食材がたくさんあるので、お昼の放送や掲示物を使って千葉県の産業についてお知らせしている。第五中学校では給食の掲示板が、昇降口のすぐそばにあるので、多くの生徒が前を通りながら見てくれていた。また、当日の朝の打合せで、先生方に趣旨を説明し、給食時間や学活の時間に話題にしていたことで、子ども達の興味、関心が高まるように取り組んでいる。また、積

極的に国産、地元の食材を使用して、それを子ども達に伝えて味わうことで、食料自給率の低い日本の産業を守って、育てることの大切さを知ってもらいたいと思っている。千産千消デーの他にも、千葉県民の日献立や千葉県の郷土料理等を紹介した献立が年に何度かあるので、その都度繰り返し伝えることで、子ども達の理解を深めていきたいと思っている。

（３）習志野市学校給食用物資選定規格書（案）について

事務局より資料４を基に、習志野市学校給食用物資選定規格書（案）について説明。

【中村委員】 ３ページ目の⑤と１４ページ目の③に「乳・卵不使用のもの」と記載されておりますが、食物アレルギーを考えてのことですか？

【谷地副主査】 乳と卵は、食物アレルギーの原因物質として、対象者が多い。

食品の中に、これらのアレルゲンが入っていないものを使用した方が、多くの児童・生徒が食べられるので、今回「習志野市学校給食用物資選定規格書（案）」の中でも、対応可能なものは、そのような記載になっている。

【その他（事務局連絡等）】

本日の会議録については、完成次第、委員の皆様へ送付する。なお、今年度の学校給食運営委員会開催は本日が最後となる。